

事例提供
院内連携システム
「ウイルス性肝炎院内紹介システムの構築と初期評価」



肝疾患診療連携拠点病院

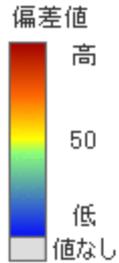
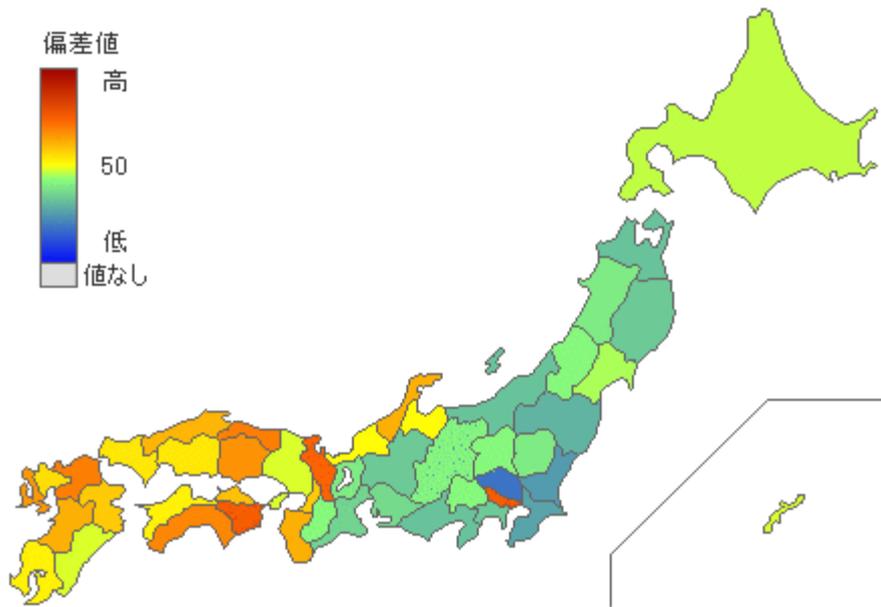
茨城県



日立総合病院

東京医大茨城医療センター

人口10万人あたり医師数は237.83人(全国平均)

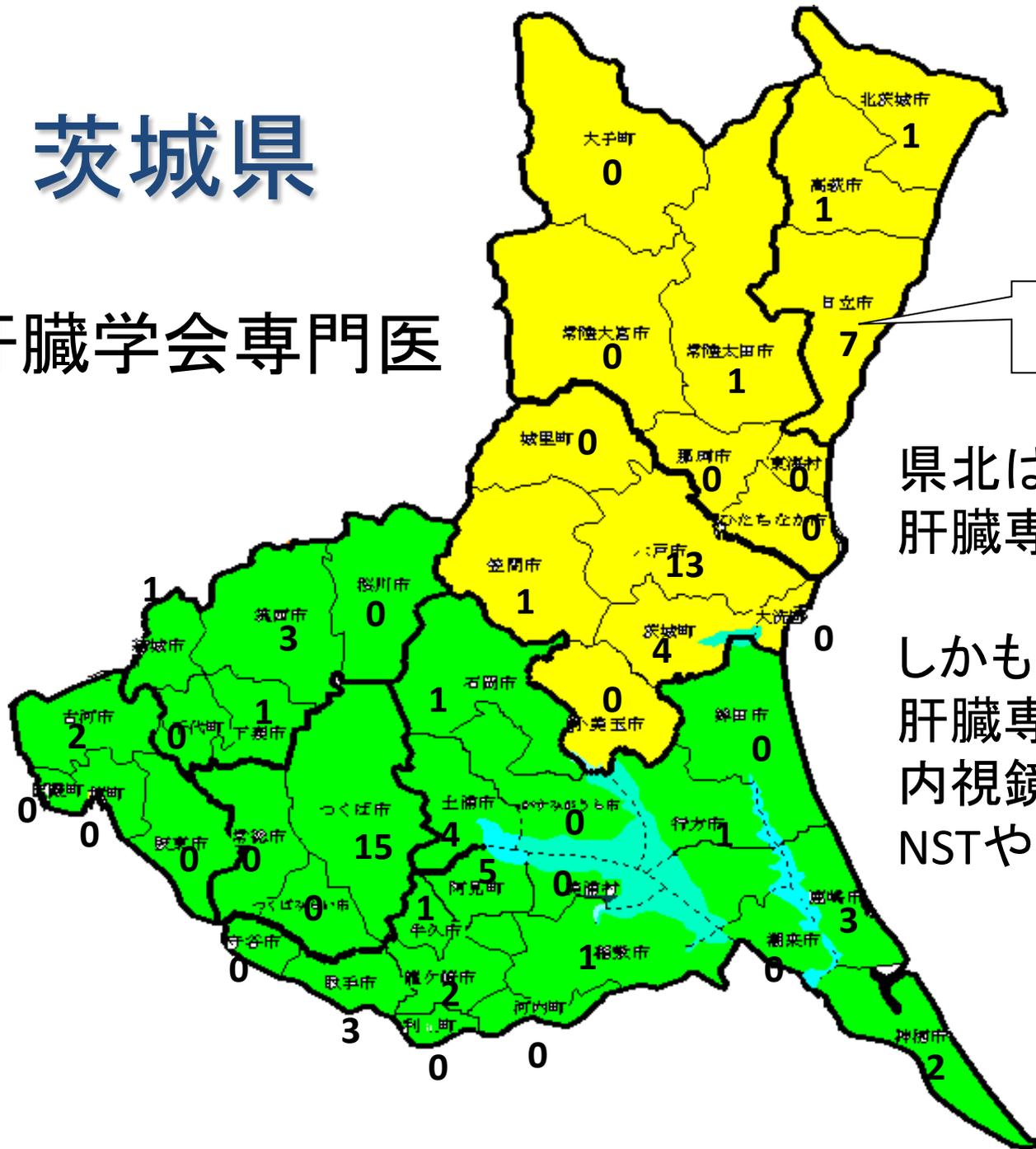


順位	都道府県	医師数		偏差値
		総数	人口10万人あたり	
並替	北南			
1	徳島県	2,441人	314.56人	68.25
2	東京都	41,498人	313.67人	68.03
3	京都府	8,195人	312.19人	67.66
45	千葉県	11,075人	178.77人	34.22
46	茨城県	5,172人	175.74人	33.46
47	埼玉県	11,143人	154.51人	28.13
	全国	303,268人	237.83人	

茨城県は175.74人(全国46位): 県北地域は120人程度！！

茨城県

肝臓学会専門医



日立総合病院

県北は医師も少ないが
肝臓専門医も少ない！

しかも県北(当院ですが・・・)
肝臓専門医が
内視鏡治療・化学療法・
NSTや各種委員会等兼任

肝疾患診療連携拠点病院

肝疾患相談支援センター: 2008年(7-12);71件
2009年(1-12);107件
2010年(1-12);61件
2011年(1-12);211件
2012年(1-12);273件
2013年(1-12);240件

連携病院へのガイドライン、助成事業説明会; 12回

C型肝炎の啓蒙や助成事業説明の講演; 26回

コミュニティFM出演、地域誌投稿; 2回、1回

肝がん撲滅キャンペーン; 3回

県央・県北地区医療機関の肝炎患者診療状況調査

都道府県肝疾患連携拠点病院間連絡協議会参加

地域連携型肝疾患クリニカルパス作成



肝臓病教室開催し継続的に情報提供

2011年より6月10月2月の年3回予定

あなたの**肝臓**は だいじょうぶ？

一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう！
肝臓病の8割は「ウイルスによるもの」です。



肝臓病3大原因



(株)日立製作所日立総合病院
肝疾患相談支援センター

2012年度活動



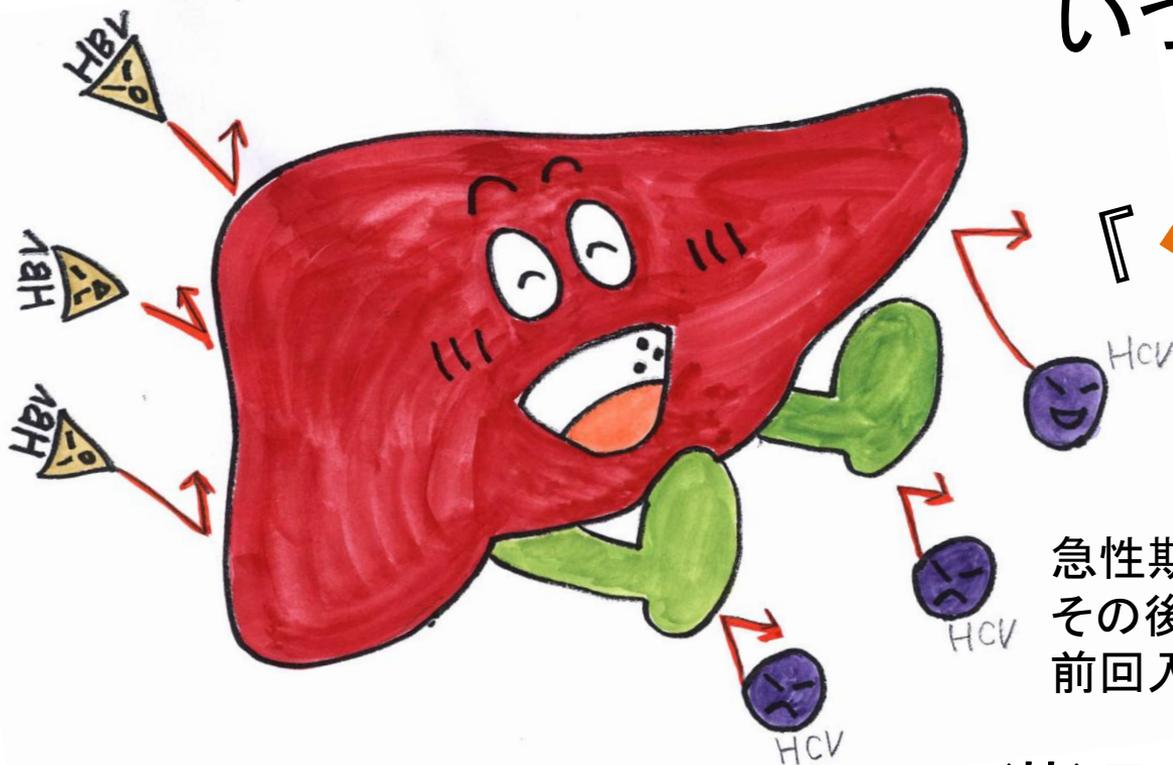
患者さんへ

肝炎ウイルス検査結果を伝えましょう！

陰性でも忘れずに！

いつ伝えるの？

『今でしょ！』



急性期治療を終え退院された方が
その後肝癌で紹介。
前回入院時のHCVAb陽性！！

(株)日立製作所日立総合病院
肝疾患相談支援センター

2013年度活動



参考にさせていただきましたが・・・
そこまでは立派にできないかも・・・

「岡山大学病院におけるウイルス検査での院内連携の取り組み」
岡山大学 消化器肝臓内科 池田 房雄先生

電子カルテへの受診勧奨表示
院長から検査陽性者への報告＞結果報告後の対応確認
陽性者本人への**報告書郵送**
これにより陽性者への報告実施が**30%から90%へ**

「当院における肝炎ウイルス感染者拾い上げの試み」
「当院・関連病院における肝炎ウイルス感染者拾い上げの試み」
大阪市立大学肝胆膵内科 榎本 大先生

B型肝炎診療情報コード化自動的チェックシステムによる de novo肝炎
予防について

福井済生会病院内科 野ツ侯 和夫先生

消化器内科、臨床検査科、内視鏡センター、化学療法センターなどマルチタスク
でもなにかやれるところからはじめましょうか・・・

【目的】

- 肝炎ウイルス検査の総数や陽性率、診療科別陽性率を調査する。
- ウイルス性肝炎院内紹介システムを構築し、院内紹介を増加させる。

【方法①】

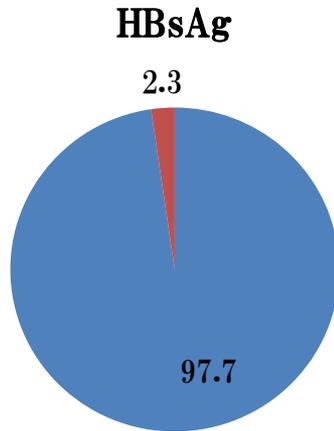
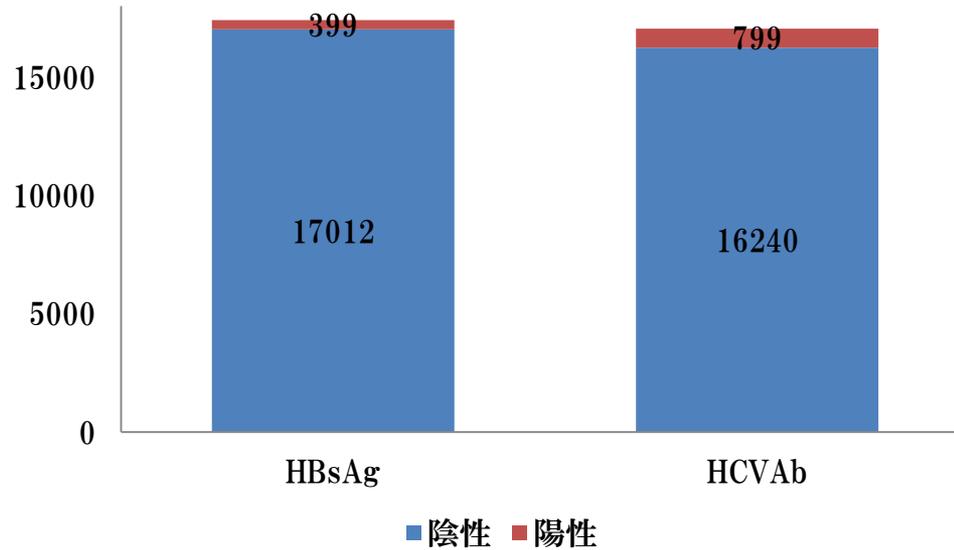
- 2013年1月より2014年8月までのHBsAgとHCVAbの検査総数、陽性率を全体及び診療科別に調査する。



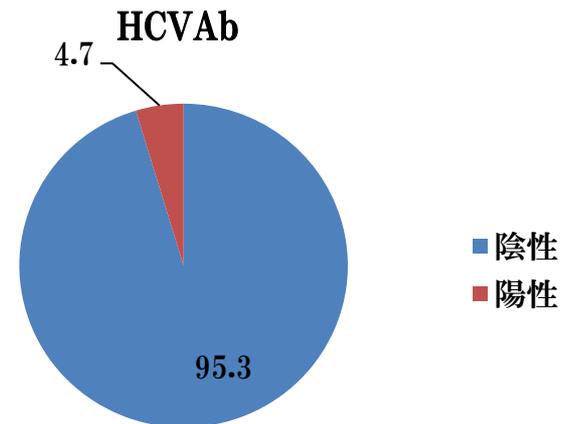
臨床検査適正化委員会委員長の立場を利用して臨床検査科にお願い

【結果①】

2013年1月～2014年8月 HBsAg・HCVAb依頼数と陽性数



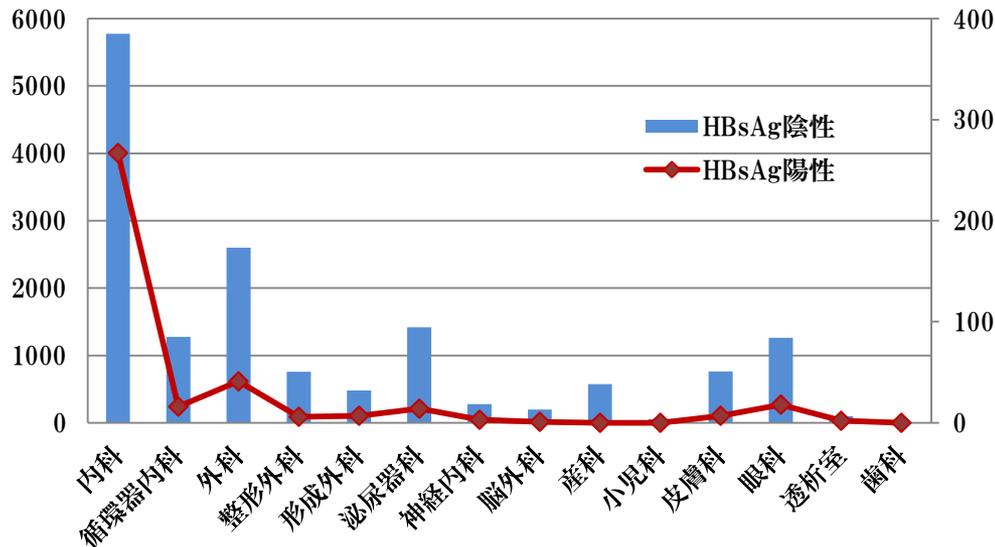
399/17411件 (2.3%)



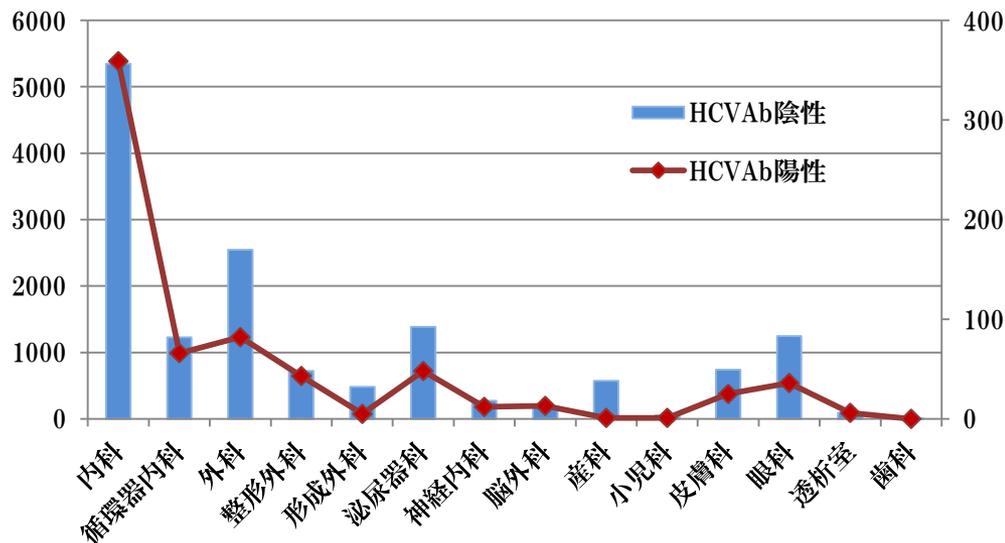
799/17039件 (4.7%)

【結果①】

2013年1月～2014年8月 HBsAg・HCVAb依頼数と陽性数(診療科別:外来)



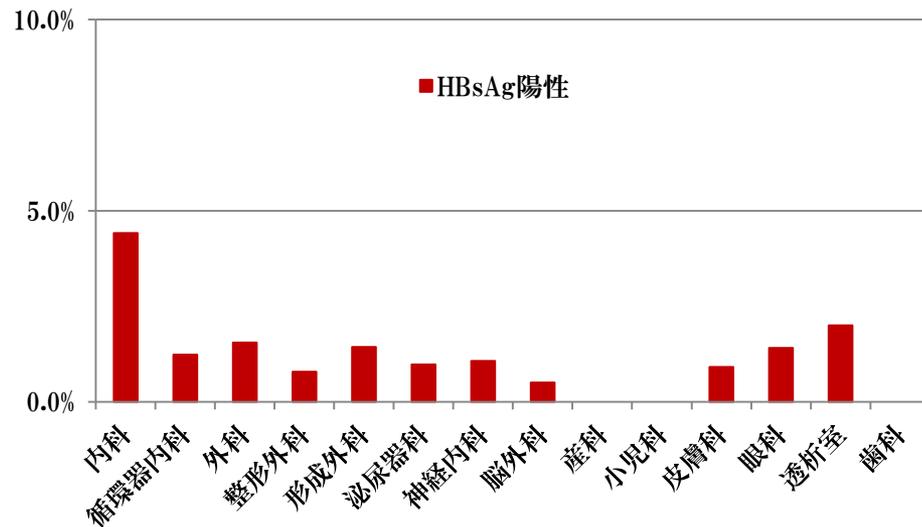
内科(細分化前)、外科、泌尿器科、眼科に多い



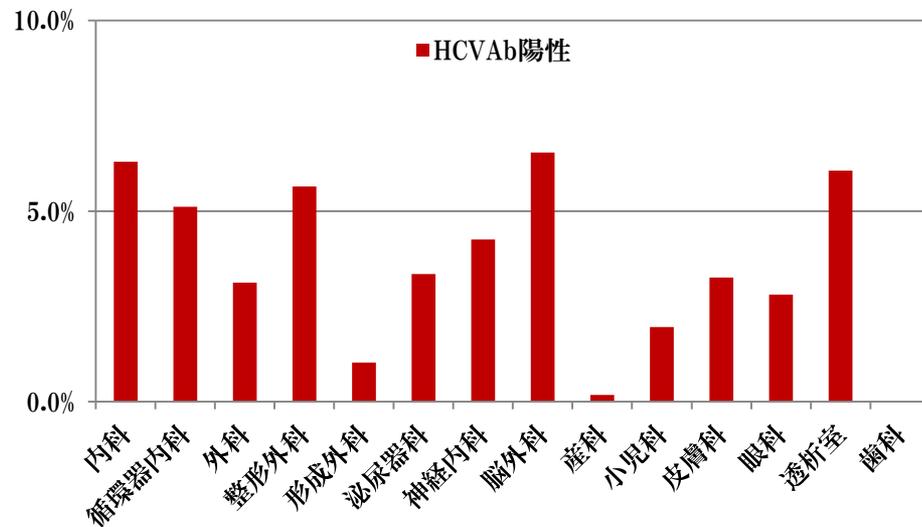
内科(細分化前)、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、眼科に多い

【結果①】

2013年1月～2014年8月 HBsAg・HCVAb陽性率(診療科別:外来)



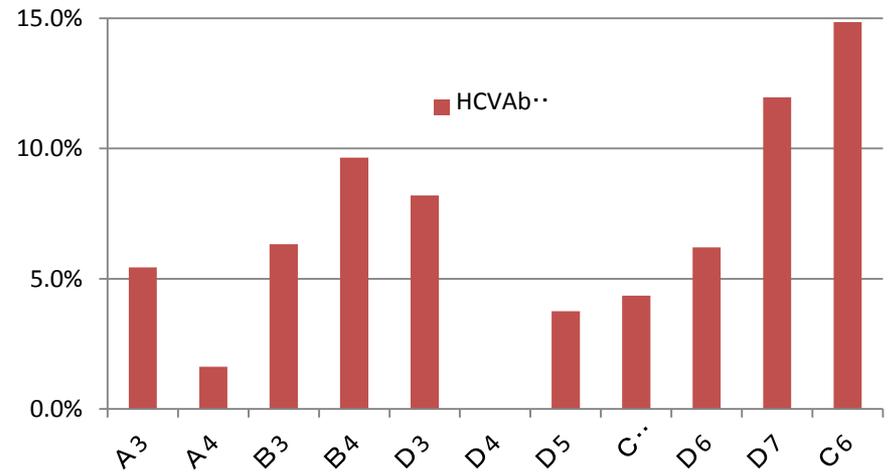
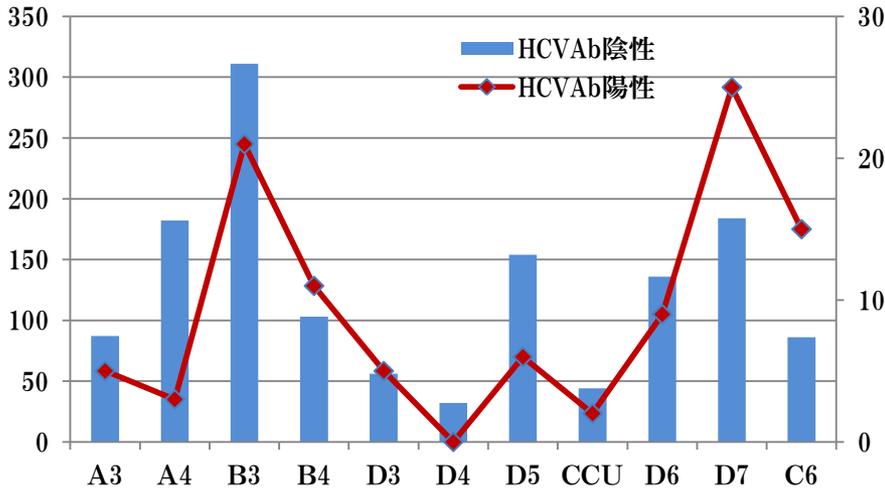
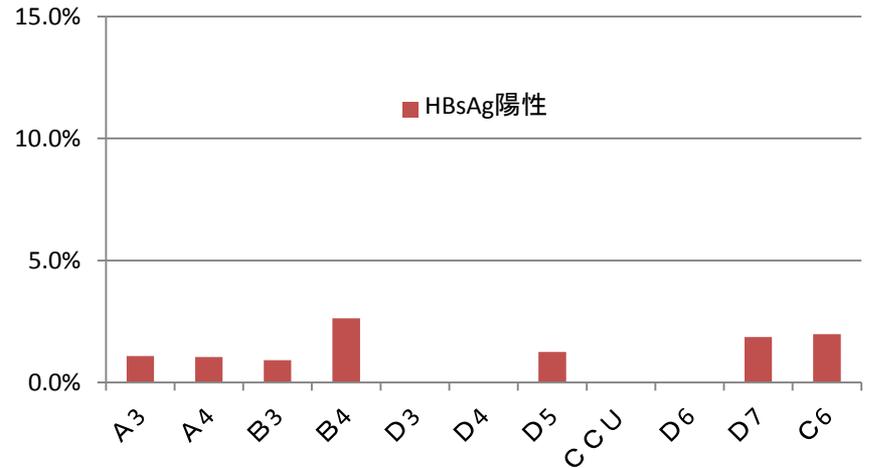
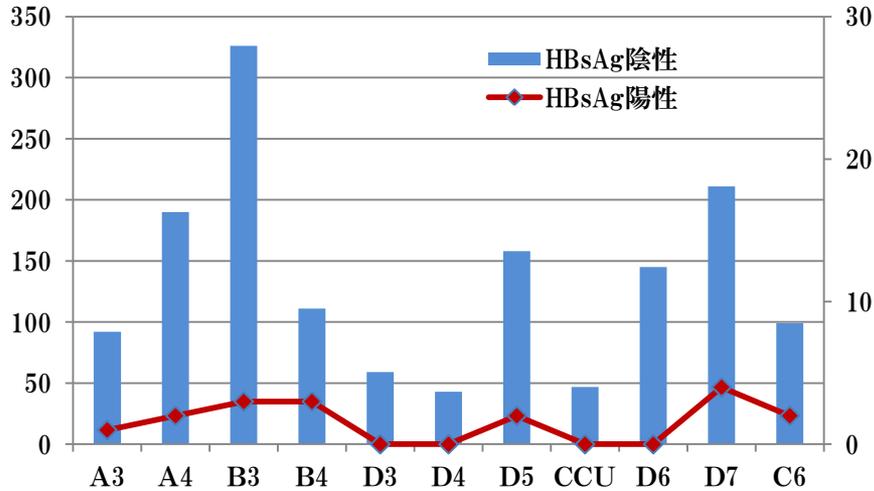
内科(細分化前)、外科、形成外科、
眼科、透析室が高い



内科(細分化前)、循環器内科、整形
外科、脳外科、透析室が高い

【結果①】

2013年1月～2014年8月 HBsAg・HCVAb依頼数と陽性数と率(病棟別:入院)



震災後混合病棟も多く科別の詳細な解析は行えませんが...

消化器内科、外科以外では循環器内科、脳外科、泌尿科、整形外科が多そう

【方法②】

- 電子カルテを利用したウイルス性肝炎院内紹介システムを検討
- 電子カルテで自動的に行う場合回収費用がかかるとの報告
- 大凡の陽性率からかかる手間と利益を考え検査技術科と相談
- 一定期間後に有効性評価し継続するかどうか決定する条件
- 陽性例は検査技術科で電子カルテにアラート入力

2014年6月2日より肝炎院内紹介システム開始

担当医殿

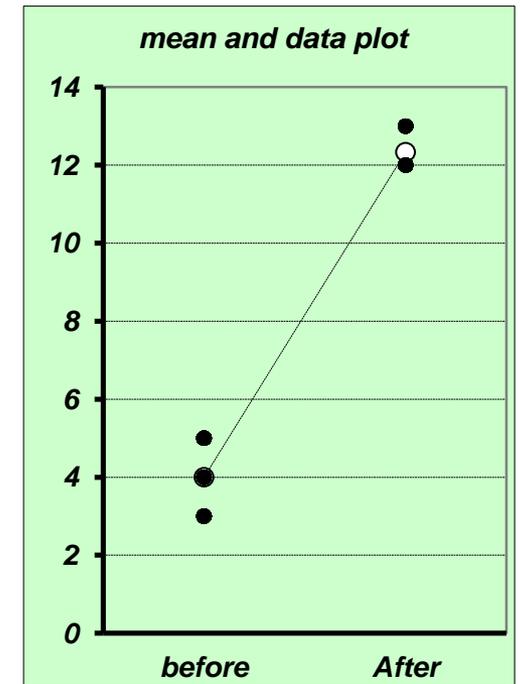
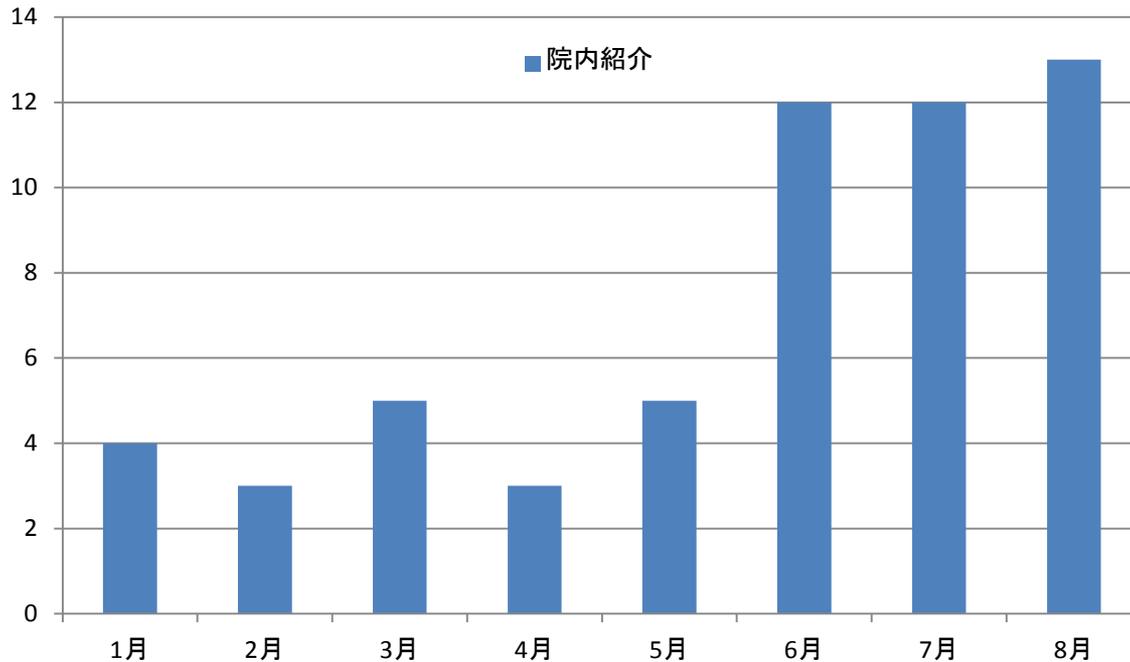
本日の検査結果で、HBsAgまたはHCVAbが陽性と検出されました。初回指摘の場合や、現在診療を受けられていない場合は、消化器内科への院内紹介をご検討ください。

The screenshot displays a medical information system window titled "HIHOPS 99-9001-8/病院 テスト×様/70歳/女". A notification dialog box is open, titled "お知らせ 内科", with the following text: "担当医殿 本日の検査結果で、HBsAgまたはHCVAbが陽性と検出されました。初回指摘の場合や、現在診療を受けられていない場合は、消化器内科への院内紹介をご検討ください。 検査技術科". The dialog has "OK" and "閉じる" buttons. Below the dialog, a patient record is visible, including a "経過記録" (Progress Record) table with columns for date, time, and status. The table shows entries for 14/05/26, 07:19, and 14/05/22. The interface also includes a sidebar with a file explorer showing folders like "経過記録" and "検体検査結果".

経過記録	初診	プロブレム	オーダ
S			
O			
A			
P			

【結果②】

ウイルス性肝炎院内紹介システム初期評価



Wilcoxon t-test

有意差は出ないが月平均4.0例、6-8月は月平均12.3例と増加
眼科、形成外科は紹介多い＞今後は循環器内科、整形外科を個別にお願いか

考察

- 肝疾患診療連携拠点病院での各施設の取り組み参考になります
- 報告をいただく施設が固定化されている印象が・・・
- 自治体により温度差がある？
- 市民公開講座など院外向け活動は行っていると思いますが
- 院内にも問題は沢山ありそうです
- マンパワーが少ない施設でどのように取り組むか・・・
- マルチタスクを逆に利用することもひとつの方法かと
- お願いしている以上データ解析し有効性、今後の方針提示
- 今後マンパワーの少ない拠点病院の取り組み報告もあればと

肝臓病教室をはじめて院外で開催してみました！
院内開催の3倍程度104名参加

講演：**肝がん撲滅への道筋**
東京医大茨城医療センター 消化器内科科長・准教授
池上 正 先生

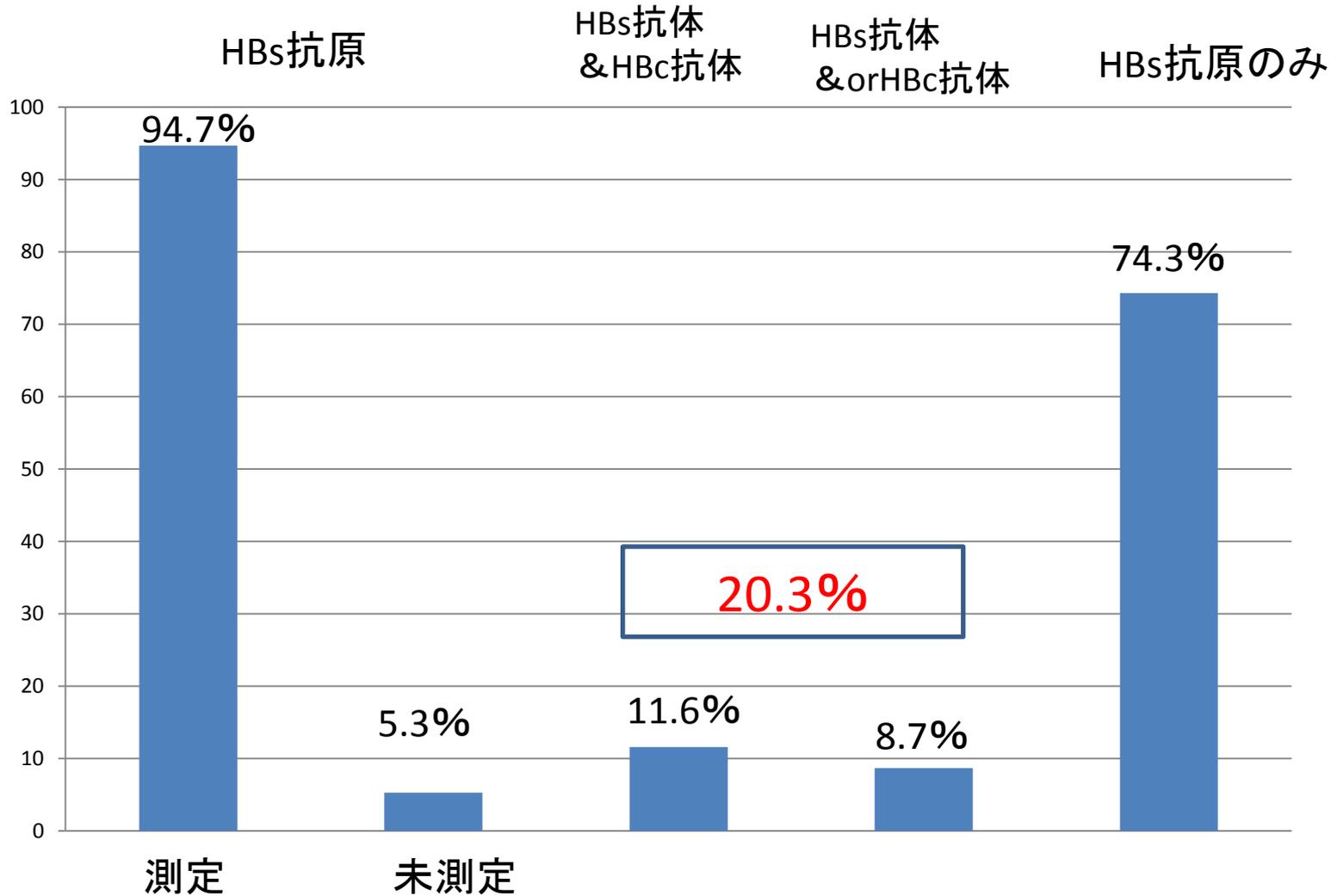
出張！肝臓病教室 IN 十王

やさしいC型肝炎治療とは：鴨志田 敏郎
よくわかる！肝臓検査値の見方：安藤 瑞基
最新！薬物治療：四十物 由香
筋肉は第2の肝臓（運動療法）：磯野 秀樹
肝臓を守る食事療法：鈴木 薫子
口腔ケアについて：黒澤 俊夫先生（日立歯科医師会）

日時：平成26年8月2日（土） 14時から16時
場所：ゆうゆう十王・Jホール
参加費：無料 事前申し込み不要です

問合せ先：電話 0294-23-8354 肝疾患相談支援センター（総合案内）
月一金曜日（祝日・病院休診日を除く）10時から16時

当院のガイドライン順守率の現状



2014年1月319症例での解析

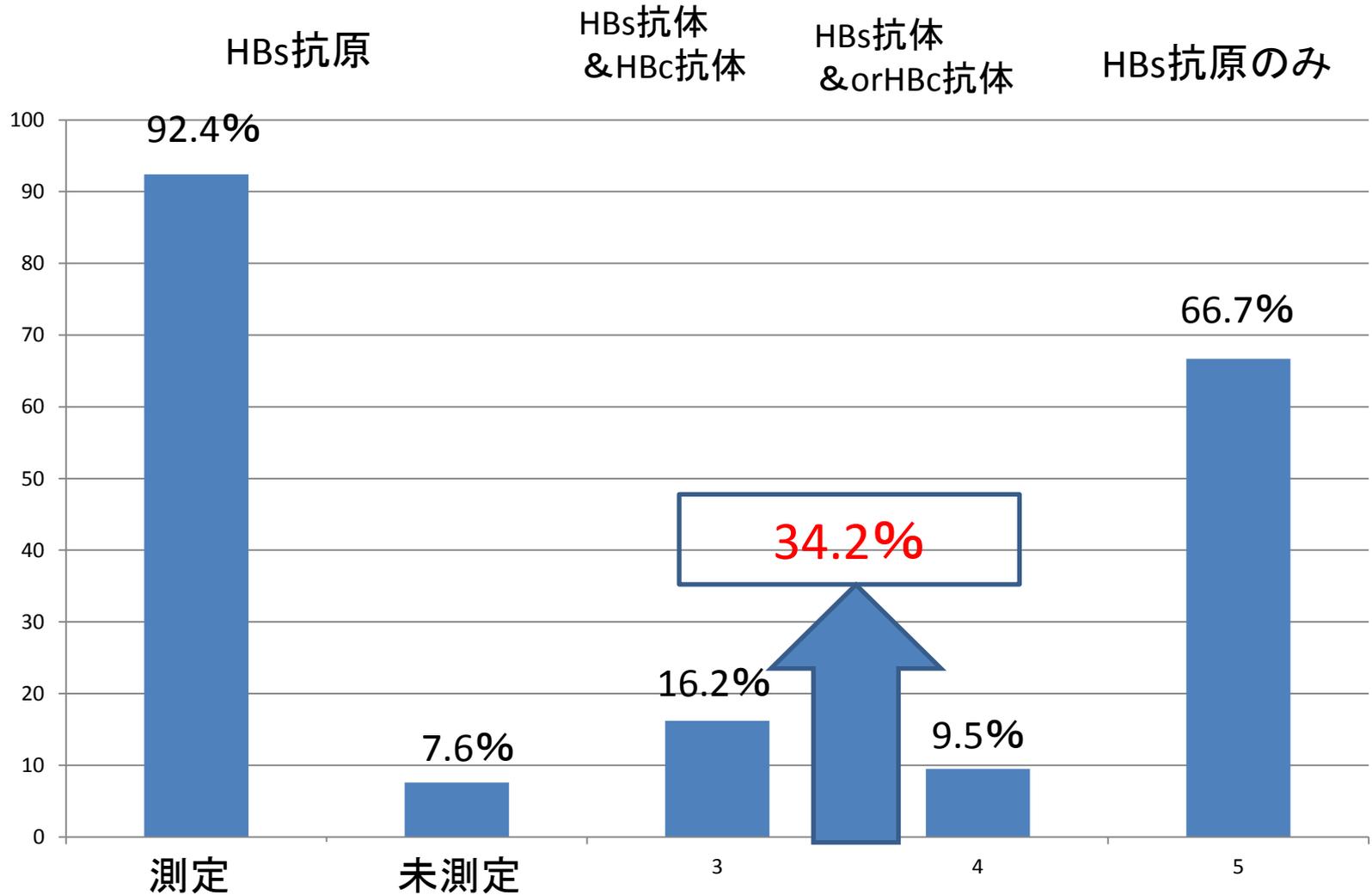
2014年6月2日より*de novo*肝炎対策も強化しました

The screenshot shows the HIHOPS medical software interface. The main window displays a patient's medication list for ID 99-2. The medication is 'リウマトレックスカプセル 2mg' (Leflunomide capsules 2mg), with a dosage of '分2 1日2回' (twice a day, 2 times per day) and a date of '14/05/19'. A 'リスク情報' (Risk Information) dialog box is open, displaying the same medication name and a warning message. The warning message reads: 「【注意】免疫抑制・化学療法中あるいは終了後のB型肝炎ウイルスの再燃にご注意ください。HBsAbとHBcAbの測定をお願いします。いずれか陽性の場合には定期的な肝機能検査が必要です。詳細は日本肝臓学会のガイドラインを参照。」 (【Attention】 Please be aware of the reactivation of B-type hepatitis virus after immunosuppression/chemotherapy. We request measurement of HBsAb and HBcAb. If either is positive, regular liver function tests are required. Refer to the Japanese Society of Hepatology guidelines for details.)

免疫抑制・化学療法中あるいは終了後のB型肝炎ウイルスの再燃にご注意ください。HBsAbとHBcAbの測定をお願いします。いずれか陽性の場合には定期的な肝機能検査が必要です。詳細は日本肝臓学会のガイドラインを参照。

最終更新 2014/05/19 14:56

当院のガイドライン順守率の現状



2014年8月315症例での解析

項目検索...

印刷

登録

閉じる

予定 日付 14/12/15 時刻 [] 採取条件 なし 至急

場所 中央採血室 結果送付先 内科問診室 コメント []

分野別 | 特殊 | 負荷 | 微生物 | 病理(組織・細胞) | **セット** | 発行一覧

医師別

科別 内科

院内共通

**院内共通にチェックを
入れてください**

内容を表示する

<科別>		
血内外来	慢性肝炎2	気管支洗浄(TB)
血内リンパ腫	慢性膵炎	気管支BAL(TBなし)
血内骨髄腫	肝性脳症	気管支BAL(TB)
血液内科A	蕁麻疹セット	<院内共通>
血液内科B	吸入系スクリーニング	de novo B型肝炎セット
血液内科入院	食餌系スクリーニング	NSTセット
糖尿病新患	小児吸入系	血液汚染事故時採血セット
糖尿フォロー	小児食餌系	t-PA(血栓溶解療法)セット
甲状腺新患	一般検査(感染症有)	感染症セット(保険)
甲状腺フォロー	異型肺炎(ウイルス・マイコ)	輸血後感染症(保険)
二次性HT	胸水セット(TBなし)	糖尿病透析予防セット
副腎偶発腫	胸水セット(TB)	生化学AB
消化器一般	気管支擦過洗浄(TBなし)	生化学A
慢性肝炎1	気管支擦過洗浄(TB)	生化学B
	気管支洗浄(TBなし)	生化学C

HBs抗原だけでなくHBs抗体とHBc抗体 の測定をお願いします！！

- 現在使用中の薬剤は免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドラインに記載されている薬剤です。
- 免疫抑制・化学療法中あるいは終了後のB型肝炎ウイルスの再燃にご注意ください。
- HBsAbとHBcAbの測定をお願いします。
(de novo B型肝炎 セット作成しました)
(当院データで25%の方が陽性です)
- いずれか陽性の場合には定期的な肝機能検査が必要です。
- 術前化学療法でHBs抗原測定なく発症例もあり注意をお願いします。

化学療法センター
肝疾患相談支援センター